

# まなび

令和5年8月23日（水） 東松島市立赤井小学校

4月に全国の小学6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせいたします。現在、本校では本結果と各学年で実施した標準学力調査の結果をもとに、全校体制で学力向上に取り組んでおります。本日は、「標準学力調査振り返りデー」でした。各学年で課題となった問題に再度取り組み、復習を行いました。今後も、日々の教育活動の中で学力向上を目指してまいります。

## 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果から (6年生実施)

### 1 国語

#### (1) 結果と考察

全ての領域において全国平均正答率を上回りました。特に、「書くこと」の領域では、全国の平均正答率を大きく上回る結果となりました。これまでの学習で、自分の考えを書く活動やペア・グループで話し合う活動を積極的に取り入れてきた成果と考えられます。

自分の考えを文章で書くことはできても、与えられた条件を満たして書くという点においては課題が見られました。また、後半の問題になるにつれ、無回答率が増加していました。これらの結果から、時間内に最後の設問まで解くことができなかつた児童や十分に見直しができなかつた児童がいたと考えられます。全国学力・学習状況調査は、普段のテストに比べて各設問の文章量が多いことが特徴です。長い文章を素早く読んで理解し、必要な情報を取捨選択する力を身に付ける必要があります。

#### (2) 今後の取組

- ・文章に親しみ、語彙を増やすために、読書活動を推進します。
- ・条件を満たして文章を書く活動を積極的に取り入れます。
- ・文章の内容や問題の意味を読み解くことを意識した授業づくりに努めます。
- ・業前の「国算タイム」で設けている長文読解の時間を生かし、様々な文章を読む機会を設けます。

### 2 算数

#### (1) 結果と考察

全ての領域において全国平均正答率を上回りました。領域別では「数と計算」で、問題形式別では記述で答える設問で、全国の平均正答率を大きく上回る結果となりました。自分の考えをノートに書いたりペアやグループで話し合ったりする活動を積極的に取り入れてきたことや日々の宿題、業前活動の「国算タイム」で繰り返し復習をしてきた成果と考えられます。

計算の過程を説明する設問や図形の定義を基に考える設問で課題が見られました。計算の仕方は身に付いていても、その数字や式の意味に関する理解が不十分であることが考えられます。また、「図形」の領域では応用的な設問で正答率が低い傾向にありました。図形の定義を曖昧なまま理解していることが原因と考えられます。

#### (2) 今後の取組

- ・教科書に記載されている考え方や友達の考えについて説明する活動や「なぜこの数値になるのか。」  
「なぜこの式になるのか。」について考える活動を意図的に設けていきます。
- ・基本的な定義を繰り返し確認し、正しい理解を促します。
- ・引き続き、宿題や業前活動の「国算タイム」を活用して基本的な計算の力を身に付けさせます。